

## 性同一性障害 厳しい戸籍の性別変更

# ニュース アップデート

このうち、④、⑤の要件をクリアするのに必要な条件別適合手術について、G-TD 学会の理事会は今月 19 日、札幌市で開催した総会

□ L G B T 性的少数者の総称。  
Lesbian (レズビアン=女性同性愛者)、Gay (ゲイ=男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル=両性愛者)、Transgender (トランジェンダー=体の性とは異なる性で生きようとする人) を指す。G I Dの人はトランジェンダーに含まれる。

性障害特例法では、戸籍上の性別変更には、家庭裁判所で審判を受け、認められる必要がある。認める要件としては、①20歳以上②婚姻をしていない③未成年の子がない④生殖腺がないか、機能を永続的に欠く⑤(形成手術で)他の性別の性器に似た外觀を備えている——の五つがある。

緩和求める声

で、「性別適合手術を要件の一つにしていることは望ましくない」などとする声明をまとめた。

沢本梓

# 半「議論を」

合、ホルモン療法を行う。男性に性別を変える人は生理が止まるなどする。女性に性別を変える人は乳房が腫らんだり、体毛が薄くなったりする。第3段階で性別適合手術を行う。それぞれ精巣切除、子宮卵巢摘出を行って生殖能力をなくし、希望する性に外見や機能を近づける形成手術を行う。

が、同性を理由に受理されなかつた。このため、「別適合手術の強要は、幸福追求権などを定めた憲法14条に違反する」などとして婚姻届を岡山市に提出した。

特例法で、患者らが緩和を求める要件がもう一つある。③の「未成年の子がない」だ。結婚し、子どもを持つてからGIDと診断される人は少なくないからだ。子どもが成人するまで外見と戸籍の性が異なることで、仕事上など、大きな

変更できるよう法律を改正するなどの動きが広がる。日本では15年、国会で「GBTに関する課題を考える議員連盟」が発足。特例法の要件緩和も議題の一つとし、当事者のヒアリングなどを続けている。

合、ホルモン療法を行う。女性に性別を変える人は生理が止まるなどする。女性に性別を変える人は乳房が膨らんだり、体毛が薄くなったりする。第3段階で性別を変える人は子宮卵巣摘出を行って生殖能力をなくし、希望する性に外見や機能を適合手術を行う。それぞれ精巣切除、子宮卵巣摘出を行って生殖能力をなくし、希望する性に外見や機能を近づける形成手術を行う。

一方、GID患者の中に手術に踏み切れない人も多い。同学会の調査によると、GIDで国内の医療機関を受診した人は15年末までに延べ約2万2000人で、このうち性別適合手術を受けたのは2割だった。

相手の山本幸さん(39)と6年3月、交際届を岡山市に提出したが、同性を理由に受理されなかつた。このため、「別適合手術の強要は、幸運なう」を定めた憲法2条に違反する」として、16年12月、岡山家裁津山支部に男性への性別変更を認めの申し立てをした。

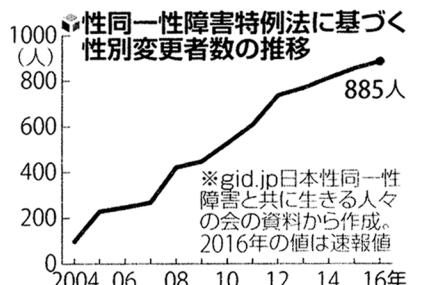
しかし、今年2月、同支部は「特例法の規定が憲法に違反するほど不合理と言えない」と却下した。

山本さんには7歳の長男があり、臼井さんは、父として育てていきたと思う。「同じGIDでも、技術をしたい人も、そうでもいい人もいると認めてほしい」とし、広島高裁岡山支部に即時抗告した。

**大きな不利益**

特例法で、患者らが緩和医療を求める要件がもう一つある。(3)の「未成年の子がない」だ。結婚し、子どもを持つてからGIDと診断される人は少なくないからだ。子どもが成人するまで外見と戸籍の性が異なることで、仕事上など、大きな不利益もあり、要件の削除を求める医師も多い。

GID学会の中塚幹也理事長は「性別適合手術」を望まない人にとっては、手術のリスクやホルモン注射を生涯打ち続けるといけないなど、不利益があることは確かだ。「未成年の子がない」も含め、現在の要件が必ず必要なのか、論していくべきだ」と話す<sup>3差</sup>。



手術費用は数十万円以上

3段階あるG I Dの治療を、総合的に受けられる施設は、札幌医科大や岡山大など数か所しかない。「ジェンターセンター」を開設し、年間約50件ほどの手術を行う岡山大では半年先まで予約で埋まっている。

手術は健康保険の適用外で、1件あたり数十万円～百数十万円かかる。一般社団法人「gid.jp日本性同一性障害と共に生きる人々の会」によると、特例法施行後、16年までに7000人近く(速報値含む)が性別変更したが、「高額な費用、体への負担の大きさから手術を敬遠する人も多い」という。